

# 令和3年度学校自己評価システムシート（県立蕨高等学校）

目指す学校像	「生徒の進路希望を実現する文武両道の進学校」 ～グローバルな視点を持ち次世代のリーダーとして活躍できる人を育てる～
--------	--

重点目標	1 生徒の進路希望の実現に向け、生徒に高い志を持たせ、全教職員が授業改善に取り組む。 2 社会のリーダーとして活躍できるように、自主・自律の精神を持ち合わせた生徒を育成する。 3 開かれた学校づくりを推進するとともに、蕨高校の魅力が伝わるように情報発信する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 日 現 在 )			実 施 日 令 和 4 年 月 日	
番	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領を踏まえ「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業研究に取り組んだ。各教科で考える力・伝える力を向上させる必要がある。</li> <li>教員同士による授業見学や研究協議を行った。授業公開の方法を検討し、学び合いを継続する。</li> <li>3年間を見通した組織的な進路指導を継続する。</li> <li>外部研修会に参加し、全職員で情報共有を図ることができた。今後も継続していく必要がある。</li> <li>新型コロナウイルス対策を踏まえた補講や校内 BYOD の活用について検討する。</li> </ul>	生徒の考える力・伝える力を意識した授業改善を推進する。 外部情報など多岐に渡る進路情報を全職員で共有し、生徒に「ライフル」全体を意識させる教科指導・進路指導の充実を図る。	①授業研究を行い、「アクティブ・ラーニング」を通して生徒の考える力・伝える力を向上させる。(通年) ②授業公開期間を設定し、教員相互の学び合いを実施する。(年2回) ①外部の視察や研修会等(教科指導・進路指導)へ積極的に参加し、全職員で情報を共有する。(通年) ②生徒が第一志望を考え、それを実現させるための進路先研究を組織的に支援する。(通年) ②難関大学入試に対応した外部研修に参加し、授業や補講に役立てる。(通年) ③オンライン補講を継続・検証し、校内 BYOD の活用をする。(通年)	①生徒の考える力・伝える力の向上を意識した授業研究を行い、授業を工夫・展開したか。 ②学び合いを通して授業研究を行い、協議を踏まえた授業を実施したか。 ①外部研修に教員が参加し、情報を各教科・各学年で共有し協議、活用できたか。 ②難関大学等の入試に対応した授業、補講を行えたか。 ②生徒が第一志望の進路実現ができるように外部模試を効果的に活用できたか。 ②Google classroomのガイダンスを実施したか。(年度当初) ③校内 BYOD を活用するためのスキルを身につけたか。					
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>文武両道の進学校の意識づけはできている。生徒が自身の管理を行い、主体性が最大限伸びるような指導を行う必要がある。</li> <li>生徒実態調査において、授業時間外の学習時間を2時間以上と回答している生徒が約40%だった。</li> <li>新型コロナウイルスによる制限がある中で部活動を活発に行うことができた。制限下における学校行事、効果的・効率的な部活動の運営が必要である。</li> <li>自転車マナーの向上に努めている。生徒の安全、命を守るために全職員でマナーアップに取り組むとともに外部機関との連携を強化する。</li> <li>海外短期派遣事業等が中止となる中で、国際交流活動を工夫して継続する必要がある。普通科、外国語科を問わず生徒の意欲・関心を喚起するように企画、実施することが求められる。</li> </ul>	リーダーを意識した文武両道の実現を体現する生徒を育成する。 規範意識を持ち、自律する生徒を育成する。 グローバル社会に主体的に取り組む生徒を育成する。	①隙間時間の活用を生徒に意識させ、生徒が「タイムマネジメント」能力を向上し、学習時間の増加につなげる。(前年比) ②新型コロナウイルスによる制限下での学校行事や効果的・効率的な部活動を通じてエンパワーメントを図ることで生徒が充実感を得る。(通年) ①自転車マナーアップを推進し、登下校中の事故ゼロを目指す。(通年) ②生徒自ら登下校指導に参加することで、全校生徒の自律を推進する。(通年) ①オンライン交流会を実施するとともに各種国際交流活動を工夫、活性化する。 ②国際交流活動等に意欲、意識の高い生徒が学科を問わず参加する。(通年)	①生徒が自分自身の「タイムマネジメント」を実践することで生徒実態調査の授業以外の学習時間2時間以上、休日の家庭学習時間4時間以上と回答する生徒の割合(40%以上)。 ②生徒実態調査で文武両道の実現割合(40%以上)、学校生活が充実している生徒の割合(90%以上)。 ①自転車事故件数の減少(前年比)及び外部機関との連携事業を実施したか。 ②登下校時のマナー向上活動の実施状況。 ①国際交流行事及び国際交流活動参加者数を増やせたか。(400名以上) ②外国語科独自の活動を広く周知し、学科を問わず参加しやすい環境を創出できたか。					
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会、学校公開、ミニ学校説明会、を実施した。説明会では代表生徒、生徒会役員や放送委員の生徒が活躍した。今年度も継続していく。</li> <li>令和2年度は小学校との交流事業は中止となった。新型コロナウイルスによる制限下での交流方法を検討していく必要がある。</li> <li>学校ホームページは積極的に情報更新し、アクセス数が前年比の2倍強だった。今年度も積極的に情報発信していく。</li> </ul>	生徒が蕨高校の魅力伝える担い手となり、保護者や学校とワンチームとなって開かれた学校づくりを推進する。	①生徒の活動が中学生や保護者等に見える学校説明会等を実施する。(通年) ②新型コロナウイルスによる制限下で実現可能な内容で蕨市内小学校との交流を行う。(9～11月) ②地域施設を積極的に活用し生徒の活動を公開する地域の行事に生徒の参加を推進する。 ③学校ホームページを積極的に更新して情報をタイムリーに発信する。	①生徒の協力者数、生徒の活躍する場面を増やせたか。(前年比) ②交流事業参加者数及び地域の行事への参加数を増やせたか。(前年比) ②蕨市内の公共施設を活用して生徒の活動を地域に知らせたか。 ③学校ホームページへの更新件数とアクセス数が増やせたか。(前年比)					